

北区

無所属

吉田 一郎
Yoshida ichiro

NACK5スタジアム

Q【吉田一郎】 大宮アルディージャのオーナーがレッドブルに代わり、J1昇格が視野に入ってきた中で、スタジアムを拡張すべきと考える。

A【スポーツ文化局長】 NACK5スタジアム大宮は、2001年に県から移管以降、市が様々な維持改修を実施。本市の公園施設長寿命化計画では、2057年が更新時期。本市としては現時点で、スタジアムの拡張の予定はないが、歴史と伝統を誇り、市民の皆様に親しまれてきたこのスタジアムが、より魅力的な施設となるよう関係者との意見を交わすことは大変重要であるとする。今後のスタジアムのあり方につきまして、意見交換をしっかりと行う。

桜区

共産党

久保 美樹
Kubo Miki

学校のうさぎ

Q【久保美樹】 動物を大切にするさいたま市にむけて、学校でのうさぎ飼育は廃止すべき。

A【副教育長】 教育委員会では、これまで、文部科学省の通知や、獣医師会との連携により、学校の適切な飼育環境や飼育体制の整備を支援してきた。今年度は、新たに飼育担当者を対象に研修会の実施を行い、改訂した「学校飼育動物Q&A」の解説や、学校間の実践交流等を行った。また、獣医師会による訪問診療の回数を増やし、うさぎの状態により適したケアの実現にむけ、体制整備を進めている。何よりも大切に育てている子どもたちの心情を考えると、教育委員会としては、今後も飼育を継続することが適当だと考える。

西区

無所属

金井 康博
Kanai Yasuhiro

モノレール

Q【金井康博】 モノレールは、用地買収の規模、大量の輸送性、速達性、安全性、自動運転化など総合的に考えれば、さいたま市にはLRT(次世代型路面電車システム)、BRT(バス高速輸送システム)よりもモノレールが最適である。

A【都市局長】 旧市の埼玉中枢都市圏構想の検討過程で都市モノレール導入の検討がされたが、諸課題から、都市モノレール構想は実現に至っていない。BRT、LRT、また都市モノレールなどを含めた様々な交通モードの導入の可能性については、今後のまちづくりの進展などによる需要増を踏まえ、需要に合った速達性、定時性、輸送力などを勘案し判断していく。

記者会見

参院選結果と市政への影響

県民公論は、清水市長に「参院選結果による本市政に及ぼす影響」について質問し、次の回答を引き出しました。

■市発展に協力する勢力と連携

国政のテーマとは必ずしも、地方のテーマは一致しているものではないが、2年後に色々な争点が出てくると思われるので、そのなかで、国政も県政も含めて、さいたま市の発展のためにご協力をいただけるみなさんとは連携しながら進めて行く。

■既存政党への厳しい評価

今回は全体としては、既存の政党に対する評価が非常に厳しかった。新しい政党であったり、あるいは新しい政策を、しっかりとお伝えした候補者に投票が集まったと思う。

令和7年.7.20参院選比例代表 さいたま市区別政党得票 県民公論社編集											
順	西 区	北 区	大宮区	見沼区	中央区	桜 区	浦和区	南 区	緑 区	岩槻区	市 計 (令和4年)
1	自民7,469	自民13,115	自民11,113	自民13,809	自民9,267	自民7,227	自民16,139	自民16,285	自民10,141	自民9,838	自民114,408 (178,344)
2	立憲6,837	国民11,977	立憲10,430	立憲11,108	国民8,855	国民6,576	国民15,201	国民16,042	国民9,958	参政6,527	国民101,870 (36,969)
3	国民6,218	立憲11,704	国民10,263	国民10,733	立憲8,220	参政5,687	立憲13,280	立憲11,823	参政8,323	国民6,043	立憲92,455 (93,516)
4	参政5,648	参政9,359	参政7,593	参政9,825	参政6,035	立憲5,254	参政9,545	参政11,744	立憲7,899	立憲5,895	参政80,287 (19,203)
5	公明4,040	公明5,093	保守3,813	公明7,278	保守3,208	公明4,450	保守5,309	保守6,283	公明4,892	公明5,440	公明48,260 (53,496)
6	れいわ2,910	保守4,467	公明3,538	れいわ2,279	公明3,195	れいわ3,183	維新5,192	公明6,140	れいわ4,124	れいわ3,515	れいわ39,797 (29,501)
7	保守2,428	れいわ4,447	れいわ3,303	保守4,186	れいわ2,899	保守2,540	みらい5,044	維新5,733	共産3,785	保守2,437	保守38,427
8	共産2,207	維新3,425	みらい3,062	共産4,168	維新2,516	共産2,453	れいわ4,573	れいわ6,561	保守3,756	共産2,272	共産32,396 (42,040)
9	維新1,734	共産3,175	維新2,954	維新3,323	共産2,506	維新2,150	共産4,425	みらい4,770	維新3,327	維新1,947	維新32,301 (77,445)
10	みらい1,153	みらい2,846	共産2,688	みらい2,301	みらい2,482	みらい1,446	公明4,191	共産4,716	みらい2,404	社民1,486	みらい26,594
*表中赤線は各区議席数、新勢力政党は色付											
■令和9年さいたま市議選挙 単純換算議席数 *各区の情勢による現段階での分析											
自民19(0)、立憲10(－2)、国民10(新)、参政8(新)、公明5(－6)											
保守4(新)、維新1(－3)、共産1(－5)、無所属1(－4)、れいわ1(新)											

県民公論は「さいたま市CS・SDGsパートナーズ」●本紙はSDGs推進の環境適正印刷方式で作成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

県民公論 電子版

市民と市政のかけはし

1963(S.38)年創刊. 62周年

県民公論 第1098号

〒330-0074 浦和区北浦和5-1-6-302

TEL.048-762-7515 FAX.048-762-7623

kenminkoron@sea.plala.or.jp

さいたま市地方記者クラブ (市役所2階)

誇りに思えるさいたま市実現へ

清水 勇人市長あいさつ 市長5期目にあたっての決意と取り組み

さいたま市長としての5期目*1のスタートに当たり、今後の市政運営につきまして、私の決意と取組を申し上げたいと存じます。

●5期目への想い

人口減少の到来に向けた備えを行う、この重要な局面で、引き続き、市政を担い、市民・事業者の皆様と共に未来を創っていきたい。

そのためには、市民・事業者の皆様、職員と共に、叡智を結集し、これまでの取組をさらに前進させ、「希望(ゆめ)のまちへ もっとシンカ!」を掲げ、この4年間に、4つのシンカを実現していくことを市民の皆様とお約束いたしました。

●4つのシンカ

▶1つ目は、災害に強い安全で安心できる都市、犯罪が起こりにくい、安全で強靱な都市へ、シンカさせることです。

老朽化するインフラ施設*2の更新、防災・減災対策、防犯対策の強化など、誰もが安心して暮らせるための、安全なまちづくりにしっかりと取り組んでまいります。

▶2つ目は、

○「東日本の共創(協奏)都市」

○「緑豊かな環境循環都市*3」

○「日本一の教育文化都市」

○「国際スポーツ・健康先進都市」を実現し、誇りあふれる都市へ、シンカさせることです。

▶3つ目は、

○「子ども・若者が希望(ゆめ)を持てる」

○「女性が活躍し、子育てがしやすい」

○「障がい者が輝き、暮らしやすい」

○「高齢者が生きがいと安心できる」、地域共生社会の実現に向け、「誰一人取り残さない」しあわせ実感都市へ、シンカさせることです。

▶4つ目は、これらを下支えする、市民の誰もがデジタルの恩恵・変化を実感でき、市役所職員の満足度も高い

○「DX*4による人に優しいスマート都市」、暮らしやすい街、生活環境のバリアフリー*5、住民主体の支え合い活動など、

○「絆(みんな)でつくる共創*6都市」の実現に向け、絆(きずな)で支え合う都市へ、シンカさせることです。

これらのシンカに向けて、市民・事業者の皆様のご御理解と御協力をいただきながら、

★「責任と共感・共汗」

★「徹底した現場主義」

★「公平・公正・開かれた市政」、

という三つの基本姿勢を貫き、全力で職務に取り組んでまいります。

●家計負担軽減への対策

特に、この度の選挙期間中には、現下の物価上昇に苦しんでおられる市民の皆様から、家計負担の軽減を求める多くの声が寄せられました。初登庁後、本市の実情を踏まえた効果的な家計負担軽減策について、国の動向も注視しながら、速やかに検討するよう、指示したところです。

引き続き、市民生活を足元からしっかりと支えていきたいと思います。

●まとめ

今、さいたま市は、誰もが未来に向けて希望(ゆめ)を描ける都市へと、更にシンカする時です。

この重要な局面において、皆様と力をあわせて進み、

●「市民一人ひとりがしあわせを実感できる“絆”で結ばれたさいたま市」

●「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」、を実現してまいりたいと考えております。

皆様のご支援と御協力を心からお願い申し上げます。

さいたま市長 清水 勇人

(2025-06-11)

県民公論のマスコット

コロンちゃん

の

かいせつ

*1 市長5期目

平成21(2009)年5月24日執行、さいたま市長初当選。

清水 勇人 155, 966

相川 宗一 98, 816

中森 福代 62, 991

日下部 伸三 32, 249

松下 裕 27, 448

高橋 秀明 26, 397

*2 インフラ施設

人々の社会生活や仕事を支える基盤となる施設や設備。

*3 環境循環都市

限りある資源を効率的に活用し、持続可能な形で循環させながら利用していく都市。

*3 DX

「デジタル・トランスフォーメーション」の略で、デジタル技術(コンピューターやインターネット技術)で市民生活をより良いものに変革すること。

*5 バリアフリー

体の不自由な人やお年寄の方々が社会生活をしていく上で、妨げ(バリア)になるものを取り除く(フリー)こと。

*6 共創

いろいろな立場の人たちと対話しながら、新しい価値を「共」に「創」り上げていくこと。

令和7年6月定例会質問

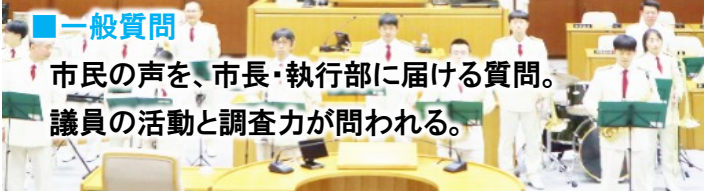
議長：伊藤仕 副議長：谷中信人

代表質問

政党・信条を同じくする「会派」を代表して
市政全般にわたって質問する。

一般質問

市民の声を、市長・執行部に届ける質問。
議員の活動と調査力が問われる。



大宮区

さい自民


新藤 信夫
Shindo Nobuo

見沼たんぼ

Q【さいたま自民党】 見沼たんぼの農地をどのように残していくのか。また、遊休農地の活用の取組はしているか。

A【副市長】 埼玉県、川口市、本市で構成する見沼田圃の保全・活用・創造のための連携会議で、土地利用の基本的方向を示し、乱開発を防ぎ、農地等の利用を図っている。農地の継続的活用のため、埼玉大学や民間企業と協定を締結し、県が公有地化した遊休農地を活用して、新しい作物の栽培に関する実証実験を行い、持続可能な営農方法の研究をしている。見沼田圃が有する多様なグリーンインフラの機能を最大限活用し、見沼田圃の保全・活用に努める。

南区

自民市議


萩原 章弘
Hagiwara Akihiro

農業用水路

Q【自民党市議団】 農業用水路整備の現状と今後について伺う。

A【副市長】 農業用水路整備については、農業環境の改善効果が非常に大きいものであり、現状としては、素掘りの側溝をコンクリート製の側溝に整備することを主に進めている。は旧岩槻エリアから多くの整備要望を受けている。こうした要望については、緊急性等を考慮のうえ総合的に判断して順次整備している。農業共同活動への「多面的機能支払交付金」も活用。見沼区膝子(ひざこ)地区では、約100ヘクタールの基盤整備「県営土地改良事業さいたま中央地区」を施工している。

緑区

維新


秋山 朋彦
Akiyama Akihiro

教科書採択

Q【維新】 学習指導要領では、社会科の目標で、我が国の国土と歴史に対する愛情を養うことが求められている。政府見解のとおり、客観的事実に基づく正しい歴史認識が形成される小・中学校の教科書を、本市は適切に採択しているのか。

A【教育長】 令和6年度に中学校の教科書採択で、社会科の歴史的分野は、東京書籍の教科用図書を採択した。この特徴は、時代を容易に認識でき、歴史上の課題が把握しやすく、歴史的な出来事について多面的・多角的に考察することで学びを深める工夫がされている。埼玉県内25の採択地区全て、東京書籍の教科書を採択。

桜区

立憲


阪本 克己
Sakamoto Katsumi

市組織内の「緩み」

Q【立憲】 組織内に見られる緩みや法令順守意識の低下を、どのように受け止めているか。内部統制の強化や第三者チェック機能の導入についての取り組みは。

A【副市長】 不適正事務処理は、職員の法令に関する知識不足や法令順守意識の希薄さ、組織内コミュニケーション不足やチェック体制の不備など複合的な要因で発生したと認識する。内部統制強化のため、職員のコンプライアンス意識の向上のための研修の実施などの対策を講じた。意思決定の過程において、他部署の職員による業務チェック等の「異なる目線」を入れ、内部統制を強化する。

桜区

自民市議


土橋 勇司
Dobashi Yuji

現市役所庁舎地活用

Q【自民党市議団】 市本庁舎の利活用で、今決定しているものは何か。浦和区役所と浦和消防署は残すのか。スケジュールについて。

A【市長】 現庁舎地については、本庁舎移転後も引き続き、県都・文教都市を象徴する場所として、多くの市民の皆様から愛され、誇りを持っていたいただける場所にしてい。浦和区役所と浦和消防署については、現時点では、その機能を現庁舎地に残すことを基本認識として、検討を行っている。令和10(2028)年度＝「現庁舎跡、利活用計画」を決定。令和13(2031)年度＝本庁舎移転、現庁舎解体。設計、施工。令和18(2036)年度＝新施設の供用開始。

緑区

共産党


松村 敏夫
Matsumura Toshio

市民負担軽減策

Q【日本共産党】 市民負担軽減策として、お米券の支給・水道料金の引き下げ又は一時無料化・学校給食無償化を提案する。

A【副市長】 本市の実情を踏まえた追加的な家計負担軽減策については、現在、庁内で検討し、今定例会中の議案提出に向けて準備を進めている。なお、現時点で、議員から提案があった「お米券」「水道料金引き下げや一時無料化」をすることについては、予定はない。学校給食用食材については、令和6年度12月補正予算で物価高騰分を公費で負担し、令和7年度当初予算でもこの措置を継続するなどの支援策を講じている。

岩槻区

無所属


佐藤 征治郎
Sato Seishiro

ボランティアポイント

Q【佐藤征治郎】 ボランティア活動について甘えていて良いのか。自治会、防犯・防災組織でボランティアとして活動している方々へ福岡市の「ふくおかポイント」のようなものを付与できないか。

A【市長】 各自治会による活動の実情や、ご尽力いただいている会長・会員の方々を始めとする地域の皆様のニーズを丁寧にお伺いし、自治会活動など地域の活動に従事されている方々が、どうすればやりがいを持って活動を継続していただけるか、福岡市の事例や、他自治体のポイント制度なども参考にしながら、具体的な支援策の検討を進めて行きたい。

見沼区

立憲


佐々木 郷美
Sasaki Satomi

高次脳機能障害

Q【佐々木郷美】 高次脳機能障害の子どもは、見た目ではわかりにくく、適切な支援につなぐににくいので、専門家による支援や、教員研修を充実させることが重要と考える。

A【教育長】 「さいたま市高次脳機能障害者支援センター」には、高次脳機能障害に関する知見のある心理・精神保健福祉士・言語聴覚士などの職員がいるので、学校からの要請を受けた際には、当該職員が学校に出向き、児童生徒に対する具体的な支援方法等について助言し、必要に応じて保護者へ医療や福祉等の情報を伝えている。高次脳機能障害とは(千葉県リハビリセンター)→



見沼区

公明党


斉藤 健一
Saito Kenichi

道の駅

Q【斉藤健一】 市民が道の駅を作って良かったと誇れる道の駅にするための、考え方と進め方について伺う。

A【経済局長】 本市ならではの特性を生かせる機能として、地域外からの活力を呼ぶ「ゲートウェイ型」と、地域の人々の集いや交流など、地域の元気を創る「地域センター型」の両方の機能を併せ持ち、更に、災害時に利用可能な防災機能など、多様な機能をもつ「都市型道の駅」を目指すこととしている。具体的には、災害時に必要な防災設備の設置、子育て世代にも配慮したキッズスペースの設置、地域の交流施設となるよう、多目的交流スペースの設置を検討している。

南区

公明党


尾上 貴明
Onoue Takaaki

二十歳の集い

Q【尾上貴明】 さいたまスーパーアリーナの大規模改修工事に伴い「令和9年二十歳の集い」について、市はどのように開催するのか。

A【子ども未来局長】 正式な開催概要の発表は令和8年度予算の議決後を予定しているが、参加者の振袖着付けの予約なども考慮し、関係者の混乱を回避しつつ、二十歳の皆様に満足いただける式典を目指す。開催日程は例年どおり「成人の日」に当たる令和9年1月11日とし、会場は二十歳の皆様一堂に会せる「埼玉スタジアム2002」を軸に、一括開催とする方向で検討を進めている。安心して参加いただける運営体制を構築する。

南区

無所属


川村 準
Kawamura Jun

高校生の海外派遣

Q【川村準】 高校生の海外派遣事業において、自己負担額が多いので、市からの公費(市からの補助金額を引き上げられないか。

A【副教育長】 教育委員会では、姉妹都市交流として、市立高等・中等教育学校の生徒がピッツバーグ市の都市経営を学び、現地の大学や高校、行政機関と交流をする海外派遣事業を行っており、今年度が3回目の実施となる。今年度は、昨年度までのシリコンバレーへの派遣事業を統合し、プログラムを充実したこととあわせて、補助金の金額を倍増し、1人20万円にした結果、参加人数も、初年度と比較し、倍増した。来年度以降の自己負担額が軽減できるよう、研究する。

南区

みらい


佐藤 真実
Sato Manami

災害時トイレ

Q【佐藤真実】 災害時におけるトイレの備蓄と管理体制の強化、バリアフリー対策など、要配慮者向けトイレ対策の取り組みについて。

A【総務局長】 本市における避難所のトイレ対策としては、簡易トイレ、組立式仮設トイレ、非常排便袋を備蓄するとともに、市立学校の避難所においては貯留式マンホール型トイレを整備している。施設併設のバリアフリー化されたトイレの使用も含めると、すべての避難所でバリアフリーに対応可能な状況となっている。停電発生時や夜間には、非常用発電機や多機能ランタンを使用して照明を確保し、視認性の向上に努めている。

中央区

立憲


高柳 俊哉
Takayanagi Toshiya

与野中央公園

Q【高柳俊哉】 グリーンインフラとしての与野中央公園整備について。

A【市長】 「緑の核」として生物多様性を踏まえた与野中央公園の整備としては、「市民の commonspace」や「郷土の原っぱ」といったコンセプトを踏まえ、約1ヘクタールのまとまった「草原広場」の設置、市民団体が管理をしている「どんぐりの森」を可能な限り生かすこととしている。高沼用水路沿いに更なる緑を配置し、水辺を軸とした鴻沼川の活用による、人を呼び込む魅力ある空間の創出と、鴻沼川調節池底面での、平時における、バスケットコートなどのスポーツ空間に加え、草地広場としての整備も検討している。

中央区

無所属


中山 淳一
Nakayama Junichi

市民の声

Q【中山淳一】 市長の政治姿勢である、「市民の声に真摯に耳を傾ける」ことについて、改めてその意欲についての見解をいただきたい。

A【都市戦略本部長】 本市では、これまで多様な施策や事業の推進に当たり、それぞれの政策の背景や事業の性質に応じた意見聴取の手法を取り入れながら、市民の皆様との情報共有を図り、市民の皆様に御理解いただける施策となるよう努めてきた。今後も、全庁を挙げて、市民の皆様の意見表明の機会の確保と社会参画の機会の提供に取り組む。

桜区

公明党


大貫田 鶴子
Onuki Tazuko

桜保全と継承

Q【大貫田鶴子】 桜保全と未来への継承について、老木化した桜の把握と対策について。

A【都市局長】 市内の公園、街路及び河川敷等の桜の本数は、約9,900本。昨年度に桜の倒木が発生した鴨川堤桜通り公園の約300本の桜の、枯損木の調査を実施し、2割程度が弱っていることを確認。倒木等の危険があると判断された場合、適宜伐採を行っている。**Q** 市全体で桜を維持、更新していくための基金を創設を。**A** 見沼田圃の桜回廊において、クラウドファンディングの実施を予定している。さいたま市の桜の維持と魅力向上に向けて、基金の創設についても研究する。